

松山市の豊かな自然を みんなで一緒に守り 育てるための道しるべ

～松山市北条地域生物多様性地域連携保全活動計画～

概要版



平成27年9月
松山市



はじめに

みなさんは、松山市で絶滅に近づいている生きものたちがいることを知っていますか？

水と緑に囲まれ、豊かな自然と穏やかな気候に恵まれたまち、松山市。

その自然のもとでは、さまざまな生きものが確認されています。

しかしながら、近年、地球温暖化による影響や森林・沿岸地の開発をはじめ、さまざまな要因によって、私たちのまちでも、絶滅に近づいている生きものがたくさん存在することが分かりました。（*「レッドデータブックまつやま2012」参照）

この計画は、本市の自然環境を将来に引き継いでいくことを目的として、みんなで力を合わせ、現在の自然環境を大切に守り、磨いていくための道しるべです。

Q どうして自然を守り、育てる行動が必要なの？

私たちが口にする魚や肉、野菜などの食べものも、
道具として使う紙や木材も、
生きる上で欠かせない水や大気も、
あらゆる自然の恵みを受けて形作られたものです。



私たちが癒してくれる森や海は、
地球の気温や気候を安定させるなど、とても大きな役割を果たしています。
これらを利用しなければ、私たちは生きていくことができません。

絶滅に近づいている生きものがあるということは、
自然環境に何らかの異変が起こったという危険信号です。



私たちが生きていくために考えなければならないこと。
それは、さまざまな生きものたちをただ利用するだけでなく、
みんなで大切に守り育てながら、いつまでも共に暮らす方法なのです。

Q

計画の対象はどこ？

計画の対象は、北条地域です。

北条地域は、松山市の北部に位置しており、東と北は今治市に接し、西は瀬戸内海に向かって開けています。

鹿島や高縄山などを中心に

里山・里地・里島が

コンパクトにまとまっていることに加え、

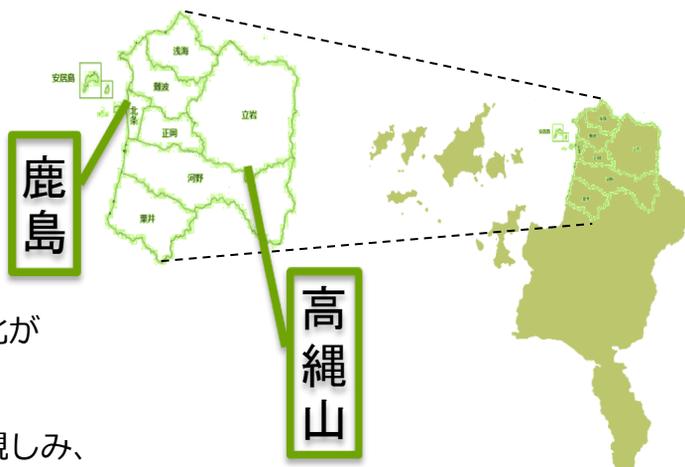
善応寺や權練りなど、

河野氏繁栄の足跡を色濃く残す歴史や文化が

地区をまたがって残されていることから、

誰もが地域の文化や緑豊かな自然環境に親しみ、

保全活動に参加しやすい地域といえます。



Q

北条地域はどんなところ？

鹿島

鹿の保護と植生の回復の両立を目指す島

- 約260種の植物が生息
- 昭和31年5月に国立公園に指定
- 近年、鹿による樹木や草木への食害が目立つ
- 林の裸地化
- 海岸沿いと山頂までの遊歩道がある



動植物が数多く生息する森

- リスなどの哺乳類や600種を超える植物が生息
- 昭和37年に愛媛県の奥道後玉川県立自然公園に指定
(山頂付近一帯)
- 昆虫の宝庫、野鳥の観察スポット
- 山頂までの登山道がある

高縄山



Q

どのように計画を進めていくの？

計画の主体は、「市民」「市民活動団体」「事業者」「学識者」「行政」です。自然を守り育てるために、それぞれの主体だからこそできること、また、お互いに協力し合うことによって初めてできることもたくさんあります。さあ、みんなで手を取り合って自然を守り育てていきましょう。



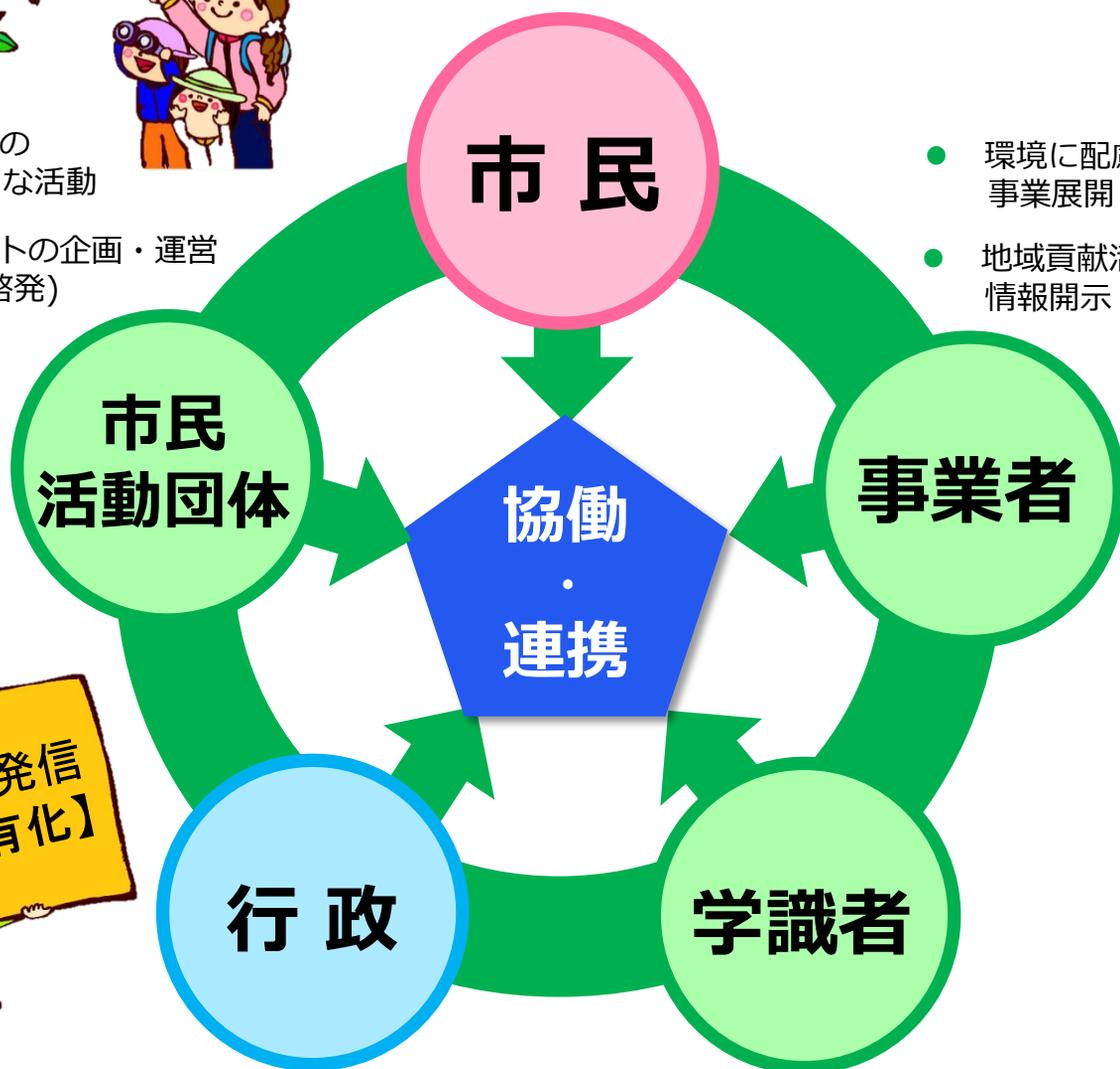
- 3Rや温暖化防止を意識したライフスタイルの実践
- 子供たちに自然・伝統行事や文化の伝承
- 自然体験や学習への参加

- 地域での積極的な活動

- イベントの企画・運営 (普及啓発)

- 環境に配慮した事業展開

- 地域貢献活動等の情報開示



情報発信
【共有化】

- 主体間のコーディネート
- 状況の把握、情報発信
- 環境負荷の小さい公共工事の実施

- 調査研究や検証
- 各主体への助言・指導
- 正しい知識の普及啓発

Q

具体的な行動は？(主な取り組み内容)

イベント・フィールドワークへの参加

「自然探検ツアー」「オリエンテーション」など、家族や友達と楽しみながら学べるイベントには、積極的に参加しよう！



生きもの観察会の実施

身近な生きものに興味を持ってみよう！
近くの田んぼや小川、ビオトープ(*)には
どんな生きものが生息しているかな？

*ビオトープ：生き物がありのままに生息活動する場所
(人間によって再構成された自然環境)

情報の共有

まずは、自然を守ることの大切さに
気づく「きっかけづくり」から始めましょう。
同じまちに住んでいても、
自然のことに詳しい人から全然知らない人までさまざまです。
まずは、自然散策をしてみよう！
話し合う機会をつかっていろんな情報を交換してみよう！



各種媒体での情報発信

登山の魅力や見どころの紹介、
絶滅に近づいている生きものたちの紹介、
自然環境に関するイベントの周知などについて、
印刷物やホームページなど、
いろいろな手法を使って情報発信していきます。



Q

目指すべき将来の姿は？（将来像は？）

連携が築く 豊かな自然とふれあう里 風早

～未来につながる 人と自然との共生を目指して～

2050年の北条地域は、本市の自然環境保全のモデル地域となっています。自然や生きものを大切にする生活文化が根付いた北条地域の一人ひとりが、市内のほかの地域の人たちに、自然や生きものを守り育てることの大切さを伝えたり、また、ほかの地域の人たちが北条地域を訪れ、体験学習に参加したり。環境に配慮した活動にふれあう「環境の環(わ)」は、北条地域を起点として、松山市内全域に広がっていきます。



みんなで目指す将来像

将来像

基本目標

連携が築く豊かな自然とふれあう里風早

く未来につながる人と自然との共生を目指してく

基本目標 1 .

地域の豊かな自然環境の保全

- (1) 里山・里地・里島の保全と未来への継承
- (2) 地域の貴重で愛着のある動植物の保全・希少動植物に対する配慮
- (3) 北条地域と他市域との連携・協働の推進

基本目標 2 .

環境教育の充実

- (1) 鹿島や高縄山での自然体験など、五感を使い楽しく学ぶ体験型の環境学習の推進
- (2) 環境教育施設等を通じた自然環境保全活動への参加促進による理解・関心の向上
- (3) 地域資源を活用したエコツーリズムの推進

基本目標 3 .

多様な主体の連携

- (1) 各主体の連携による生物多様性の保全活動を行う基盤づくりの推進
- (2) さまざまな機会を活用したさらなる普及啓発
- (3) 次世代を担う地域の後継者の育成

基本目標 4 .

歴史・文化と自然の調和

- (1) 歴史的・文化的資源を交えた情報発信による地域の活性化
- (2) 憩いの交流の場としての里山・里地・里島づくりの推進



松山市 環境部 環境モデル都市推進課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL : (089)948-6459 FAX : (089)934-1861

E-mail : kankyou-m@city.matsuyama.ehime.jp